



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月6日

上場会社名 株式会社アオキスーパー 上場取引所 東
 コード番号 9977 URL <https://www.aokisuper.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 俊道
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 黒澤 淳史 (TEL) 052(414)3600
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の業績(2021年3月1日~2021年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	25,791	△9.1	533	△57.8	574	△55.2	386	△55.5
2021年2月期第1四半期	28,386	9.0	1,264	277.2	1,283	248.8	868	267.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	66.45	66.12
2021年2月期第1四半期	150.89	150.47

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	31,937	21,833	68.3
2021年2月期	37,313	21,693	58.0

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 21,807百万円 2021年2月期 21,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年2月期期末配当金の内訳 記念配当 10円00銭

3. 2022年2月期の業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,300	△7.1	740	△60.7	780	△59.3	500	△61.0	86.06
通期	103,000	△3.0	1,500	△53.0	1,570	△51.9	960	△53.2	165.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	6,250,000株	2021年2月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	442,272株	2021年2月期	447,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	5,812,051株	2021年2月期1Q	5,755,540株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、国内においても4月に政府が3度目の緊急事態宣言を発出するなど、社会経済活動は引き続き停滞し、非常に厳しい状況となりました。また、同感染症の影響が国内経済を下振れさせるリスク並びに海外経済の動向及び金融資本市場の変動に留意が必要など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当小売業界におきましても、同感染症とそれに伴う自粛の影響により、雇用情勢の悪化や個人所得の減少が消費者マインドへ与える影響が懸念され、今後も厳しい状況が続くものと思われまます。さらに、当社を取り巻く経営環境は、食品の取扱比率を高めているドラッグストアや同業店舗間競争の激化、人件費の高騰や低価格志向などの生活防衛意識がこれまでも増して強まることが予想され、引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況におきまして当社は、政府・自治体の指針に沿い、お客様及び従業員の安心・安全を最優先に、店内の混雑緩和や店舗における感染拡大防止対策に取り組み、営業活動を継続いたしました。

販売促進政策では、生鮮食料品に強みを持つ食品スーパーである当社の特色を前面に打ち出し、月に一度、第2水曜日は鮮魚を中心とした「魚の日」、第3水曜日は野菜や果物を中心とした「青果の日」、29日は精肉を中心とした「肉の日」として、旬の食材やお値打ち品を多数取り揃えた企画を実施いたしました。また、当社は本年6月に創業80年を迎えることから、お客様からの永年のご愛顧に感謝し、5月に創業80年を記念したスクラッチお買物券プレゼント等の特別企画を実施いたしました。

業績面におきましては、昨年4月から5月にかけて同感染症の影響による初の緊急事態宣言が発出され、小中学校等の休校や外出自粛の要請に伴い、在宅時間が増加し、内食需要が高まりましたが、本年は「新しい生活様式」が浸透し、これら「巣ごもり需要」の反動減により売上・利益ともに減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期は、営業収益257億91百万円（前年同期比9.1%減）、営業利益5億33百万円（前年同期比57.8%減）、経常利益5億74百万円（前年同期比55.2%減）、四半期純利益3億86百万円（前年同期比55.5%減）となりました。

なお、当社は、食料品を中心に生活関連用品等の販売を主体とする事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前事業年度に比べ、63億80百万円減少し、138億58百万円となりました。これは主に、前事業年度末が金融機関の休業日にあたり、仕入債務等の支払50億98百万円が3月1日となったこと、並びに土地の取得に係る支払いに伴う現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前事業年度に比べ、10億4百万円増加し、180億78百万円となりました。これは主に、土地の取得によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度に比べ、53億76百万円減少し、319億37百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前事業年度に比べ、55億16百万円減少し、81億92百万円となりました。これは主に、前事業年度末が金融機関の休業日にあたり、仕入債務等の支払50億98百万円が3月1日となったこと、及び未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、前事業年度に比べ、1百万円増加し、19億11百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度に比べ、55億15百万円減少し、101億4百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前事業年度に比べ、1億39百万円増加し、218億33百万円となりました。

また、自己資本比率は、前事業年度に比べ、10.3ポイント増加いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、前回（2021年4月14日）公表から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,135	11,629
売掛金	0	0
商品	1,581	1,598
貯蔵品	20	20
その他	501	610
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,239	13,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,697	6,537
土地	4,078	5,309
その他(純額)	1,305	1,225
有形固定資産合計	12,081	13,071
無形固定資産	351	343
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,964	2,932
その他	1,723	1,778
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	4,640	4,663
固定資産合計	17,073	18,078
資産合計	37,313	31,937
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,630	5,851
未払法人税等	978	286
賞与引当金	184	358
役員賞与引当金	54	—
ポイント引当金	264	271
環境対策引当金	94	87
その他	2,504	1,338
流動負債合計	13,709	8,192
固定負債		
退職給付引当金	737	738
長期預り保証金	761	760
資産除去債務	405	407
その他	5	5
固定負債合計	1,910	1,911
負債合計	15,619	10,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372	1,372
資本剰余金	1,775	1,811
利益剰余金	19,283	19,437
自己株式	△772	△813
株主資本合計	21,658	21,807
新株予約権	35	25
純資産合計	21,693	21,833
負債純資産合計	37,313	31,937

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	27,034	24,524
売上原価	22,435	20,641
売上総利益	4,599	3,883
その他の営業収入	1,351	1,266
営業総利益	5,951	5,150
販売費及び一般管理費	4,687	4,616
営業利益	1,264	533
営業外収益		
受取利息	6	6
受取保険金	0	20
その他	13	15
営業外収益合計	20	41
営業外費用		
支払利息	0	0
自己株式取得費用	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	1,283	574
特別利益		
環境対策引当金戻入額	—	6
その他	5	1
特別利益合計	5	8
特別損失		
固定資産除却損	0	0
損害賠償金	1	—
特別損失合計	1	0
税引前四半期純利益	1,287	583
法人税、住民税及び事業税	506	251
法人税等調整額	△87	△54
法人税等合計	419	196
四半期純利益	868	386

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。